

政務活動費調査研究報告書

会派名 市民の会

氏名 大塚正俊

| | |
|-------------|--|
| 日 程 | 令和 6 年 1 月 12 日（金）午前 9 時 30 分～12 時 |
| 場 所 | 佐賀県有田町まちなかのオフィス春陽堂 |
| 相 手 方 | 有田町 松尾町長 まちづくり課；土井副課長 NPO 法人灯す屋；佐々木代表理事 |
| 参加議員 氏 名 | 大塚正俊、千木良孝之、木佐貫佳子 |
| 目 的 | 有田町の「歴史的町並みでの空き店舗活用やイベント・移住支援について」現地調査を行い、空き家や空き店舗の有効活用、移住者の受入れ支援のあり方を探る。 |
| 内 容 | <p>◇有田町は平成 18 年 3 月 1 日に西有田町と合併し、行政面積；65.8 km²、人口；18,986 人の街です。有田陶器市は全国的に有名で 7 日間に 100 万人が訪れる陶器の街です。しかし、それ以外の時期における伝建地区エリアを訪れる観光客の増加と空き店舗、空き家の有効活用が課題となっています。</p> <p>■視察概要</p> <p>1. 歴史的町並みでの空き店舗活用のイベント・移住支援について</p> <p>①空き店舗の活用実績（165 軒）</p> <p>②空き店舗改修の施行者（基本的に借家人、伝建建物は所有者）</p> <p>③空き店舗や空き家を活用する時に苦慮した点や行政の支援（古い建物の場合は住宅ローンが下りないケースがある。スタートアップの場合の資金繰り、古民家再生費用の見積もりが難しい。回収に対するオーナーの了解）</p> <p>④空き店舗使用者とのマッチングの方法と工夫（空き家を活用したイベントの実施、不動産業者と連携したユーチューブの編集、空き家見学会の開催）</p> <p>⑤空き店舗改修に対する市の補助金（県、市の補助制度が充実）</p> <p>⑥移住者を引き込む戦略（内山エリアでは伝統・文化を大切にしたい人に絞って紹介、お試しワークステイ事業）</p> <p>⑦移住に対する支援策と移住者数の実績（H21～R4 で 256 件、</p> |

| | |
|------------|---|
| | <p>823 人)</p> <p>⑧イベントの実施例（うちやま百貨店、2 日間 8,000 人、14 店舗）</p> <p>⑨行政と NPO 法人「灯す屋」が連携している事業（お試しワークステイ事業、空き物件インフォメーション）</p> <p>⑩「灯す屋」の独自事業（空き家を活用した児童クラブ、貸しオフィス、イベントうちやま百貨店など）</p> <p>⑩空き店舗、空き家を活用した店舗等の現地調査</p> <p>■事前学習資料（別紙参照）</p> <p>https://editors-saga.jp/editors/localist/20190824_727.html</p> <p>https://tomosuya.com/</p> |
| <p>成 果</p> | <p>有田町では、伝建地区の内山地区を中心に、歴史的な建造物が残っているが、空き店舗が増えてきている現状を踏まえ、NPO 法人と連携して、空き店舗活用を進めています。NPO 法人代表理事は、有田町出身で地域おこし協力隊として3年間、空き店舗、空き家の有効活用に務め、定住して NPO 法人を立ち上げて引き続き事業を継続しています。</p> <p>空き店舗の活用にあたって、貸主と借主との調整、イベント参加による地元との連携など、行政ではできない調整を行う第3者がいることが何よりも心強いと感じました。</p> <p>NPO 法人独自で、空き家を購入・改修し、子ども食堂や貸オフィス等を運営するなど精力的に活動している。</p> <p>中津市にも建築士会や宅建協会等、建物にかかわる団体と連携し NPO 法人のような立ち回りができないものかと考えます。</p> <p>また、空き家、空き店舗の改修については、佐賀県や有田町で補助金制度を創設しており、中津市においても全市域で補助金が活用できるように見直しを実施すべきと考えます。</p> |